１．群馬県農業農村振興計画概要

［策定の趣旨］

本県の農業が魅力ある産業として大きく成長し、農村がより一層活性化することで、将来にわたって県民生活に不可欠な農畜産物の安定供給が図られるとともに、農業・農村の魅力が向上するよう、「新・総合計画（ビジョン）」を踏まえ、新たな農業農村振興計画を策定しました。

［位置づけ］

本計画は、「新・総合計画（ビジョン）」の目指す「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実感できる自立分散型社会の実現」に向けて、「新・総合計画（基本計画）」や国の新たな「食料・農業・農村基本計画」との整合性を保ちつつ、本県の農業分野における最上位計画として位置づけています。

［計画期間］

令和３年度を初年度とし令和７年度を目標年度とする５年間とする。

［性格］

10 年先の将来を見据えて、計画期間における施策の方向性や具体的な目標を示す県農政推進の基本指針とします。また、農業者、消費者、関係団体、行政機関がそれぞれの果たすべき役割に応じて、主体的に取組を進める上での協力・連携に向けた指針とします。

［構成］

（１）基本計画

本県の農業・農村振興における「基本理念」や計画期間における「基本目標」のほか、「基本目標」の達成に向けた具体的な取組として、「基本施策」、「重点プロジェクト」を示します。また、地域毎には、「地域別基本方向」、「地域重点プロジェクト」を示します。

（２）年度別計画

基本計画に基づき、年度毎の具体的な取組内容を示します。各年度の成果及び進捗を検証することで、基本計画の着実な推進を図ります。

［基本目標］

「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」

［総合指標］

	（Ｒ１）		（Ｒ７）
農業産出額	２，３６１億円	⇒	２，６００億円

２．令和７年度農政重点施策

本県の農業と農村が持つ可能性を最大限引き出し、持続的に発展させるとともに、未来に向けて農業者が元気に躍動し、県民誰もが豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開します。

基本目標

「未来へ紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」

本県の農業と農村が持つ可能性を最大限引き出し、持続的に発展させるとともに、未来に向けて農業者が元気に躍動し、県民誰もが豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開します。

重点施策

環境負荷低減・資源循環型農業への転換・推進

～ 環境と調和しながら持続的に発展する循環経済の実現 ～

循環経済(サーキュラーエコノミー)※の実現に向けて、生産・販売・消費の拡大や、肥料・飼料の国産化に向けた取組を展開し、農業関係者や消費者の行動変容と相互連携を促すことで、環境負荷低減・資源循環型農業への転換をさらに進める。

※家畜ふん堆肥の利用など地域内の資源循環を促進し、環境負荷を低減しつつ生産コストの抑制と新たな付加価値の創出につなげることで、持続可能な農業を確立すること

生産拡大

持続的な農業に取り組む担い手の確保・育成、省力かつ低コストな技術開発

1　環境負荷低減の取組と高付加価値化を目指す「新たな経営感覚を持った担い手」の確保・育成

・有機農業実践者の指導による農林大学校における有機農業教育の強化
・環境負荷低減・資源循環型農業に必要な機械導入や施設整備に係る費用補助

2　高い生産性と環境負荷の低減を両立した生産体系への転換に向けた技術開発

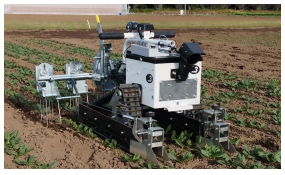
・需要の高い施設園芸品目における有機栽培技術の確立、全国シェアの獲得
・スマート農業技術や再生可能エネルギーを活用した省力・省コストかつ環境負荷の小さい生産技術の開発・実証


有機農業の担い手の育成

肥料・飼料の国産化による資源循環型農業の促進

3　耕畜連携による堆肥・飼料の生産拡大及び利用促進

・良質な堆肥の供給、耕畜間でのマッチングによる堆肥の広域流通の推進
・生産組織による国産飼料作物の生産拡大、成分分析に基づく品質の向上


除草ロボットの実用化

販売促進・消費拡大

有機農産物への消費者理解の促進と販路拡大・新規需要開拓

4　有機農産物に対する消費者理解の促進

・有機農業体験ツアーの開催や有機農産物を活用した学校給食の提供、児童向け教材を活用した子どもや消費者への理解促進
・県内でのオーガニックマルシェの開催
・オーガニックビレッジ（甘楽町、高山村、みなかみ町）の取組推進


オーガニックマルシェを通じた農業者と消費者の交流

5　有機農産物の販路拡大・新規需要開拓

・都内自然食品専門店での「群馬県産有機農産物コーナー」の設置
・都内飲食店とのマッチング
・農産物粉末等の商品開発やプロモーションを通じた新規需要開拓
・インバウンド等に向けた有機こんにゃく製品の販路開拓と消費拡大
・県産有機農産物の共同集出荷体制の構築に向けた物流テスト



農産物粉末等の新規需要開拓

群馬県農業農村振興計画の施策の柱に基づく主な施策

未来につながる担い手確保と経営基盤の強化【人・農地】

■新たな担い手の確保・育成

・長期農業体験や技術習得研修等、就農支援の実施による担い手確保
・新規就農者の定着に向けたサポート体制の強化
・各補助事業の活用による「農業版企業誘致」の推進

■地域農業を支える力強い経営体の育成

・スタートアップ企業が有する革新的技術の実証と
農業経営体とのマッチングによる社会実装の加速化

■農地利用の最適化と生産基盤の整備

・将来の農地利用を明確化した「地域計画」の実現に向けた伴走支援
・生産基盤整備事業を契機とした担い手への農地集積・集約化の推進
・農業水利施設の老朽度に応じた長寿命化対策による保全



キュウリ収穫ロボットの実証

次世代につなぐ収益性の高い農業の展開 【収益性向上】

■園芸産地等の競争力強化

・こんにゃくいも生産者の経営安定に向けた複合作物の導入促進
・所得向上を目指す意欲ある野菜花き生産者への
機械導入や施設整備に係る費用補助
・やよいひめと新品種を核としたいちごの生産拡大
・群馬県育成品種を中心とした果樹の生産振興

■強靱な畜産経営の確立

・豚熱、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病対策の強化
・ゲノミック評価を活用した優良繁殖雌牛の増頭・改良促進
・浅間家畜育成牧場の施設整備による次代の酪農を担う人材の育成

■持続的な水田農業の展開

・優良種子確保、売れる米づくり、ぐんま型「水田フル活用」の推進



いちご高設栽培の技術開発

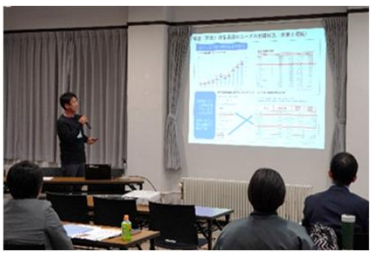
豊富で多彩な県産農畜産物の需要拡大 【需要拡大】

■県産農畜産物の認知度向上・販路開拓推進

・県産農産物の栄養価や機能性成分に着目した消費者への訴求
・Youtubeやテレビ、SNS等の複数の媒体を活用したプロモーション
・群馬県農業統一ロゴマーク＆新認証制度の運用

■農畜産物等の輸出促進による販路拡大

・群馬県農畜産物等輸出促進戦略に基づく、生産から輸出に至る
各行程での支援体制構築
・世界と戦える農業者の育成に向けた塾の開講



ぐんまグローバルファーマー育成塾

■地域資源活用の推進

・県産農畜産物や多様な地域資源の活用による価値創出

魅力あふれる農村の持続的な発展 【魅力度向上】

■多彩な地域特産物の生産振興

・養蚕の基盤となる蚕種や稚蚕飼育の生産体制整備・養蚕の担い手育成
・県産ブランドニジマスの増産に向けた水産試験場(川場養魚センター等)整備

■防災・減災対策の強化

・防災重点ため池の豪雨や地震に対する詳細調査の支援、改修・補強

■鳥獣被害防止対策の強化

・嬬恋村などニホンジカの高密度生息地域での捕獲強化
・クマのゾーニング管理に向けた調査の実施



養蚕の担い手育成
（養蚕学校での実習）

ニューノーマルがもたらす農村の新たな価値の創出【価値創出】

■「快疎」な空間としての農村地域を求める関係人口の拡大・深化

・地域資源を生かした新たな農泊モデルの創出（農泊×オーガニック）
・農村地域と企業や大学の連携による、地域資源を活用したイベント開催や商品開発の促進
・農泊事業者や観光団体等との情報交換、プロモーション活動の実施

■農村協働力の深化による多面的機能の維持・発揮

・農業者や地域住民等による組織が実施する多面的機能の維持や地域資源の質的向上を図る協働活動への後押し



“農泊×オーガニック”の提案

３．令和７年度農政部当初予算総額と主要事業一覧

［令和７年度農政部当初予算総額］

(単位：千円、%)

区分			R７年度 当初予算	R６年度 当初予算	比較増減	
					増減額	対前年比
一般会計			22,700,967 (22,958,439)	22,314,919 (22,171,052)	386,048 787,387	101.7% 103.6%
	一般事業		15,124,967 (14,787,952)	14,770,919 (14,837,282)	354,048 (▲ 49,330)	102.4% 99.7%
	公共事業		7,576,000 (8,170,487)	7,544,000 (7,333,770)	32,000 836,717	100.4% 111.4%
		単独公共事業	792,000 (723,000)	760,000 (751,477)	32,000 (▲ 28,477)	104.2% 96.2%
		補助公共事業	6,784,000 (7,447,487)	6,784,000 (6,582,293)	0 865,194	100.0% 113.1%
農業改良資金特別会計			15,000	17,708	▲ 2,708	84.7%

※（ ）は２月補正後予算ベース

［令和７年度農政部主要事業一覧］

（単位：千円）

事業名	担当課	区分	R6予算額 （）内はR5補正を含む額	R7予算額 （）内はR6補正を含む額	事業内容
Ⅰ　未来につながる担い手確保と経営基盤の強化【人・農地】					
農業者育成対策（就農促進対策）	農業構造政策課	継続	36,478	31,626	・就農相談窓口の設置や、就農希望者への研修機会の提供、新たな担い手確保に向けた産地の受入体制整備等を通じて、新規就農者の確保・育成のための支援を総合的に実施する。
新規就農者育成総合対策	農業構造政策課	継続	335,323	308,270	・研修時や経営開始時の支援のための給付金や機械・施設等の導入のための補助金を交付し、新規就農者の確保・育成を図る。
農福連携推進	農業構造政策課	継続	5,085	5,294	・農作業モデル事業を行い、経済性の評価を行うとともに、作業方法等を示したデジタル手引きを作成する。 ・特別支援学校生徒の現場実習支援を行う。 ・障害者が安心して作業するための環境整備の支援を行う。
農業者等研修（「ぐんま農業実践学校」推進）	農業構造政策課	継続	3,066	3,312	・農林大学校の「ぐんま農業実践学校」において、定年帰農者やIターン・Uターンによる就農希望者等を対象に、農業の基礎的な知識・技術についての実践的な研修を行い円滑な就農を図る。
農業経営基盤強化対策（農業経営力向上事業）	農業構造政策課	継続	60,000	60,000	・①認定新規就農者の就農初期の経営安定、②認定農業者等の意欲ある担い手の経営向上、③企業等の大規模な営農開始に必要な施設整備や機械導入に係る経費の一部を補助して、本県農業の将来を担う力強い経営体を育成する。
農業経営総合対策（農業経営力向上支援）	農業構造政策課	継続	14,760	12,172	・県が就農希望者や経営面で課題を有する農業者に対して、就農、法人化・経営継承等に関する支援体制を整備し、就農サポート・経営サポートを行う取組を支援する。
農業経営総合対策（次世代を育てる集落営農支援）	農業構造政策課	継続	55,000	55,000	・集落営農における活性化に向けたビジョンづくりや人材の確保 、新たな作物の導入 等の取組を支援する。
農業経営総合対策（ぐんまAgri×NETSUGEN共創（企業的経営体育成対策））	農業構造政策課	継続	29,080	29,080	・「ぐんまAgri×スタートアップ共創センター」を新たに設置し、県内農業の現状や課題を洗い出しの上、公設試験場と連携した共同研究や県内農業者・農業団体との協働による現地実証など、革新的技術やサービスの検証を図る。
農業近代化資金等融通対策	農業構造政策課	継続	113,139	122,594	・農業近代化資金融通法等に基づく長期かつ低利な施設資金等の円滑な融通を図る。 〈利子補給対象融資枠：農業近代化資金25億円、農業経営負担軽減支援資金0.5億円〉
総合農政利子負担軽減対策	農業構造政策課	継続	10,366	12,618	・農業近代化資金等の制度融資への上乗せ利子補給により、農業者等の負担軽減と資金の円滑な融通を図る。 〈利子補給対象融資枠：認定農業者等利子軽減36億円〉
農地利用促進対策（担い手への農地集積・集約化）	農業構造政策課	継続	195,064	231,367	・力強い農業構造の確立に向けて、生産性の向上や経営の効率化を図るために、農地の中間的受け皿となる農地中間管理機構の体制整備・運営支援を行い、担い手への農地集積・集約化を図る。また、新たな担い手である企業等の農業参入を推進する。
農地利用促進対策（農地利用最適化促進）	農業構造政策課	継続	6,999	5,889	・遊休農地が多い中山間地域において、遊休農地の解消に向けた取組を加速化させる。また、新たな担い手として期待される企業や農業法人等が農地確保する際に必要となる大規模な遊休農地解消に向けた取組を促進する。
小規模農村整備	農村整備課	継続	632,900	640,000	・市町村や土地改良区等が実施する農業生産基盤整備、農村生活環境整備等、農村地域の多様な要望に対応したきめ細かな保全整備を支援する。
農山漁村地域整備	農村整備課	継続	1,170,785	1,010,893	・生産振興及び経営の改善・安定を図る農業生産基盤の整備や農業用施設の保全対策及び農地等への湛水被害を軽減・防止するための排水対策を実施する。
農業競争力強化基盤整備	農村整備課	継続	1,392,491 (2,283,491)	1,364,771 (2,373,211)	・区画整理などの農業生産基盤の総合的な整備を実施するとともに、農地中間管理事業を活用して担い手へ農地集積を促進する。 ・農業用水の安定供給を図るため、農業用施設の老朽度に応じた保全対策を実施する。

（単位：千円）

事業名	担当課	区分	R6予算額 （）内はR5補正を含む額	R7予算額 （）内はR6補正を含む額	事業内容
Ⅱ　次世代につなぐ収益性の高い農業の展開【収益性向上】					
野菜振興 （野菜花き生産力強化）	野菜花き課	一部新規	152,000	152,000	・野菜・花きに関する生産基盤を強化し、その持続的発展を促進するために、意欲ある生産者に対し、各種施設や農業機械について整備・導入費用の一部補助を行う。
野菜振興 （園芸産地強化支援）	野菜花き課	継続	200,046	200,000	・国庫事業を活用し、園芸産地の高収益化に向けた施設・機械整備、集出荷施設等の基幹施設整備、環境負荷軽減と持続的発展に向けたモデル的先進地区を創出するとともに、地域農業を支える老朽化した共同利用施設の再編集約・合理化の取組を後押しする。
こんにゃく価格低迷対策	蚕糸特産課 ぐんまブランド推進課	一部新規	0	54,849	・こんにゃくいもの需給安定と生産農家の経営安定を図るため、新たな複合作物等に必要な機械導入に対する一部経費を補助するとともに、こんにゃく消費拡大に向けたPR活動等を行う。
薬用作物生産基盤強化対策	蚕糸特産課	継続	5,400	5,400	・民間企業と連携した薬用作物の生産振興に向けて、経営規模の拡大や新規栽培の育成を進めるため、機械導入や施設整備に対する経費の一部を補助する。
果樹振興	蚕糸特産課	継続	4,869	4,753	・リンゴ、ブルーベリー、ウメなど群馬県育成品種を中心に、本県産果実の品質の高さやその魅力をPRし、果樹の生産振興と地域の活性化を図る。
花き振興	野菜花き課	継続	14,795	2,825	・群馬県花き振興計画（第7次）に基づき、重点9品目を中心に生産振興及び産地基盤の強化を図るとともに、県産花きの積極的なPR、花きの販売促進、消費拡大を図る。
フラワーパーク運営・改修	野菜花き課	継続	1,884,798 (3,696,798)	437,785	・集客力、収益性を高め、花の素晴らしさ、群馬県の良さを体感できる施設に一新するため、改修工事を実施する。 ・秋に予定しているリニューアルオープンに向けた植栽管理等の開園準備を指定管理者により行う。 ・リニューアルオープン記念式典の開催とプロモーション動画を制作する。
畜産物流通消費 （畜産物輸出コンソーシアム事業）	米麦畜産課	継続	0 (84,229)	71,793 (81,673)	・輸出産地としてリスト化された産地に対して、輸出先国へのプロモーション活動や輸出先国のニーズに則した動物福祉等への取組に対して支援を行い、本県畜産物の輸出拡大を図る。
肉牛振興	米麦畜産課	継続	22,358 (119,418)	22,224	・高能力牛の導入や地域内保留を推進するとともに、ゲノミック評価を活用し、消費者ニーズに応じた美味しい牛肉を生産するための和牛改良を推進する。 ・付加価値の高い和牛の安定生産のため、令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会の出品対策を強化し、県産牛肉のブランド力向上を推進する。
養鶏振興	米麦畜産課	継続	30,692	31,351	・上州地鶏の生産拡大を目的に、畜産試験場のヒナ供給体制を強化するための機械等を整備する。また、新規生産農場・飼育面積を増加するために、主に空き鶏舎を改修する整備に対して補助する。 ・県産鶏卵の消費拡大を推進する。
浅間牧場草地・施設整備	米麦畜産課	継続	242,000	220,000	・本県の酪農基盤の強化を図るため、浅間家畜育成牧場における効率的な飼養管理ができる集中管理牛舎や飼料生産基盤強化のための草地整備改良等を実施する。
農産振興 （経営所得安定対策等推進）	米麦畜産課	継続	82,369	76,610	・国の経営所得安定対策等を推進し、飼料用米等戦略作物の作付拡大を進め、水田の有効活用による食料自給率の向上や農業者所得の向上を図る。
農産振興 （畑作物の本作化対策）	米麦畜産課	継続	40,000	40,000	・国産需要が高まる麦・大豆等の畑作物の本作化に向け、水田における畑作物の導入・定着に向けた取組や、麦や大豆の増産に向けた農業機械の導入を補助する。
農産振興 （新基本計画実装・農業構造転換支援）	米麦畜産課	新規	0	500,000	・地域農業を支える老朽化したカントリーエレベーターやライスセンター等の共同利用施設の再編集約・合理化に必要な費用を補助し、土地利用型作物生産基盤の強化を図る。
農政部施設整備	農政課 米麦畜産課 野菜花き課 蚕糸特産課	一部新規	54,178 (74,178)	790,000 (1,849,209)	・次世代を見据えた生産振興やスマート農業の導入、家畜伝染病に対する対策を行うため、老朽化した施設を更新・改修します。

（単位：千円）

事業名	担当課	区分	R6予算額 （）内はR5補正を含む額	R7予算額 （）内はR6補正を含む額	事業内容
園芸作物研究	野菜花き課（農業技術センター）	継続	18,838	30,879	・本県の主要な施設野菜であるイチゴ、キュウリ、ナスなどについて、簡易な栽培技術の確立や多収・高品質栽培法の研究に取り組む。
農作物環境研究	野菜花き課（農業技術センター）	継続	15,293	15,500	・みどりの食料システム戦略に対応して、土壌管理技術の開発や総合的病害虫管理（IPM）技術の開発等を行う。
養蚕農家を支える技術の再構築と新しい展開	蚕糸特産課（蚕糸技術センター）	新規	0	13,592	・養蚕の基盤である蚕種及び稚蚕について、高品質なものを安定供給できるように技術の再構築を図ることにより、繭生産量を確保すると共に企業との連権を見据えた新たな蚕糸業の展開を目指す。
温水性魚類生産技術研究	蚕糸特産課（水産試験場）	継続	20,226	23,106	・人工アユ等の種苗生産供給、飼育技術開発、普及指導、優良形質魚の作出と系統保存等を行う。
冷水性魚類生産技術研究	蚕糸特産課（水産試験場）	継続	19,123	9,856	・マス類の新たな飼育技術、生産ロス抑制等の技術開発により、高付加価値化と生産効率化を図るとともに生産者に対して優良種苗の供給、技術指導を行う。 ・渓流魚の効果的な資源増殖技術を開発する。
野菜花き技術対策	野菜花き課	継続	22,977	10,752	・野菜、花きの安定生産および生産性向上を図るとともに、より持続性の高い農法への転換に向けた技術対策、ならびに持続可能な農業の実現のための農業生産工程管理（GAP）の導入推進等に取り組む。
農業技術対策指導（ぐんま農業DX加速化）	野菜花き課	継続	5,700	5,816	・群馬県の農業DXを強力に推進するため、普及指導員と生産者のデータリテラシーを強化するとともに、生産者の経営課題について把握・分析することで、データに基づく指導を軸として、力強い経営体の育成を図る。
野菜価格安定（野菜生産出荷安定資金造成費補助）	野菜花き課	継続	174,096	88,886	・国、生産者等で資金をあらかじめ積み立て、青果物の価格低落時に生産者に補給金を交付し、生産者の経営安定と消費者への青果物の安定供給を図る。
家畜伝染病予防	農政課	一部新規	1,065,553	1,342,054	・特定家畜伝染病（アフリカ豚熱、豚熱、鳥インフルエンザ）の発生予防とまん延防止を図るための対策を総合的に実施する。 ・家畜伝染病予防法に基づき、各種監視伝染病の検査を実施し、発生予防・予察を行うとともにまん延防止を図る。

（単位：千円）

事業名	担当課	区分	R6予算額 （）内はR5補正を含む額	R7予算額 （）内はR6補正を含む額	事業内容
Ⅲ　豊富で多彩な県産農畜産物の需要拡大【需要拡大】					
県産農畜産物ブランド力強化対策（G-アナライズ＆PR等）	ぐんまブランド推進課	一部新規	87,225	55,418	・県産農畜産物の魅力・価値を「ブランド」として消費者に認知してもらえるように、G-アナライズ＆PRチームの取組により農畜産物の強みや特長を明確にする。 ・それらを活かした効果的なブランド戦略により、消費者に選ばれ続ける長期的な農畜産物ブランドの構築を目指す。
粉末化プロジェクト推進	農業構造政策課 ぐんまブランド推進課	新規	0	35,419	・県立農林大学校で、有機農業の生産技術指導と併せて、粉末化を軸とした農産物の加工や販売の実習を行うことで、有機農業の担い手の所得向上と経営安定につなげます。 ・消費者の健康志向が高まる中、県産農畜産物の強みや特長を消費者に訴求することで、ブランドイメージの向上と高付加価値化に取り組みます。
農畜産物等輸出促進	ぐんまブランド推進課	一部新規	48,083	52,580	・輸出に取り組む生産者等の育成や海外マーケットに対応した農畜産物等の生産振興及び産地育成を図り、県産農畜産物等の輸出促進及び海外販路の開拓・拡大に取り組む。
地域資源活用推進	ぐんまブランド推進課	継続	24,911	73,161	・農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、従来の6次産業化を発展させた「地域資源活用価値創出」を支援する。
Ⅳ　魅力あふれる農村の持続的な発展【魅力度向上】					
蚕糸振興（蚕糸業継承対策・碓氷製糸経営基盤強化・県産シルク需要拡大対策）	蚕糸特産課	継続	33,080	33,080	・蚕糸業の維持・継承のため、県産繭確保対策を実施するとともに多様な養蚕担い手の育成に取り組む。 ・碓氷製糸の製糸業務の維持・強化のため、製糸機械・施設の改修・整備や繊維関係見本市出展に係る経費を補助する。 ・「ぐんまシルク」のPRを強化し、県産シルクの需要拡大を図る。
漁業振興	蚕糸特産課	継続	22,259	18,594	・カワウ、コクチバスの駆除や稚魚放流等により、河川湖沼における水産資源の保護増殖を図る。 ・養殖業者の育成強化と生産物の消費拡大等に取り組むとともに、ギンヒカリを安定的に供給できる体制の構築を図る。
アユ生産振興	蚕糸特産課	新規	0	1,045	・アユ生産振興のための成分分析等及びイベント実施を行う。
漁場環境対策	蚕糸特産課	継続	4,432	3,541	・河川の連続性を確保し、漁場の改善を図るため、魚道整備工事を行う。 ・イワナの保護水面を管理し、資源の維持と環境保全を図る。
有機農業推進	農政課 農業構造政策課 米麦畜産課 野菜花き課 蚕糸特産課 ぐんまブランド推進課	一部新規	157,200	176,179	・地域資源の循環及び農業の持続的発展のため、化学肥料・化学合成農薬に依存しない有機農業を推進する。 ・みどり認定者等へのサポート体制を構築するとともに、人材育成等の研修会を開催する。 ・堆肥舎整備や堆肥、緑肥、木質チップ、除草等の機械導入、堆肥の広域流通や散布に対して、補助金を交付する。 ・有機農業の土壌や経営実態について調査する。 ・有機農業での新規就農者へのサポート強化や農林大学校の有機農業教育の充実に取り組む。 ・施設キュウリ・ナスの有機栽培技術開発や有機養蚕技術体系の確立と新規用途開発を行う。 ・オーガニックビレッジに対して交付金を交付する。 ・東京都内での有機農産物コーナー設置や物流テスト、飲食店等とのマッチング、オーガニックマルシェを開催する。 ・有機農業体験ツアーの開催や有機農産物を活用した学校給食の提供、有機農業教材を作成する。 ・有機コンニャクの生産拡大に向けた補助や販路開拓・消費拡大に向けたPR事業を実施する。
農業環境保全（農業環境保全）	農政課	継続	30,063	30,118	・農業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」（国策定）を推進するため、市町村や農業団体等が行う取組に対して、交付金を交付する。
農業環境保全（環境保全型農業直接支援対策）	農政課	継続	21,026	26,101	・化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に対して、交付金を交付する。

（単位：千円）

事業名	担当課	区分	R6予算額 （）内はR5補正を含む額	R7予算額 （）内はR6補正を含む額	事業内容
病害虫発生予察 （重要病害虫の特別防除等）	農政課	継続	209,806	209,806	・果樹等を加害する外来種クビアカツヤカミキリの防除対策を支援する。 ・植物防疫法で定められた重要病害虫が確認された場合に緊急防除等の対策を実施する。
単独農村整備	農村整備課	継続	127,100	152,000	・農業用水の安定供給と下流域の防災・減災を図るため、小規模なため池の老朽対策や地震・豪雨対策を実施する。 ・地すべり防止区域を適正に保全するため、施設の維持管理補修と監視体制の整備を実施する。
農村地域防災減災	農村整備課	継続	863,000 (1,161,000)	849,020 (1,286,630)	・防災重点ため池の豪雨・地震に対する詳細調査の支援と、その結果に基づく、改修・補強を実施する。 ・石綿管路等の撤去及び安全な材料による布設替えを実施する。
鳥獣害防止	蚕糸特産課	継続	583,786	598,589	・市町村被害防止計画に基づく地域の主体的な取組に対する経費を補助するとともに、豚熱に係る野生イノシシ対策の強化を継続する。
鳥獣被害対策支援	蚕糸特産課	継続	82,929	89,645	・捕獲目標に基づく計画的な推進や、効果的な捕獲器具の利用促進に取り組む。 ・地域ぐるみによる被害対策への指導・助言や、対策に取り組む人材の育成を行う。 ・ゾーニングによる人とクマの棲み分けに必要な取組を進める。
Ⅴ　ニューノーマルがもたらす農村の新たな価値の創出【価値創出】					
グリーン・ツーリズム推進	農政課	継続	5,366	4,810	・地域の特徴を活かしたグリーン・ツーリズム、農泊を推進し、農村地域の活性化を図るため、人を呼び込む情報発信や広報宣伝による誘客促進、人材の発掘、育成のための研修会等による受入体制の整備、農泊に係る取組を推進する。
中山間地域等直接支払	農政課	継続	145,864	146,599	・生産条件が不利な中山間地域の農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業生産活動等の継続や集落の共同活動を支援することにより、耕作放棄地発生の防止や集落の維持を図り、中山間地域を下支えする。
ふるさと保全・活性化対策	農政課	継続	18,231	19,178	・中山間地域の農業及び農業関連所得の向上を図るため、地域住民による創意工夫や地域の特色を活かした農村活性化の取組を推進する。
多面的機能支払	農村整備課	継続	886,053	927,293	・農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等による組織が農地や水路等を維持・保全するために取り組む活動や、地域住民を含む組織が地域資源の質的向上を図るために取り組む活動を支援する。